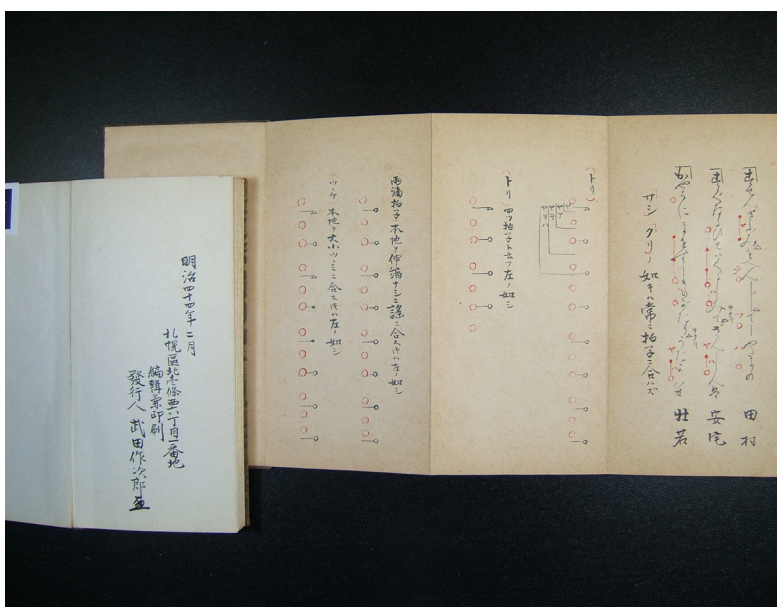


## 武田作次郎 『謡曲つづみのしらべ』

上巻は、謡曲が盛んであるが、大小鼓の手付が入手しにくいのを遺憾とする旨記す序文の後、葛野流大鼓の手組一覽を示す。続いて、「キザミ返」「片地」「ラクリ」の類例として、謡の文句に粒を添えて示す。下巻は、大倉流小鼓の手組一覽。写真下は、上巻巻末部、十二文字と八拍子の対応関係を示した図である。四文字目や七文字目の位置が、現代式の地拍子よりも遅れる位置にあるのが特徴的である。そのように記した意図は不明。



標題 内題…―

標題紙…―

奥附…―

その他…謡曲つづみのしらべ(序・題簽)

著者 奥附…武田作次郎

その他の場所…武田定明(序)

出版 版次…第一版

出版地…札幌

出版社…武田作次郎

出版年…明治44(1911)

その他の場所…序 明治44(1911)

形態 冊数…二冊十包紙 頁数…―

寸法…16×8(㎝)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 折本。上下巻。